



平成 26 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ジオネクスト  
代表者名 代表取締役社長 浅井 克仁  
(JASDAQ・コード 3777)  
問合せ先 取締役経営企画管理本部長 成瀬 岳史  
電話番号 03-5669-0112

## 平成 26 年 12 月期 第 2 四半期累計期間業績予想と実績との差異 並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 14 日の平成 25 年 12 月期決算発表時に公表いたしました平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 12 月期通期(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)業績予想と実績の差異

##### (1) 連結業績予想と実績の差異

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	298	△34	△49	△51	△2 円 23 銭
実績値 (B)	156	△43	△61	△93	△3 円 07 銭
増減額 (C) = (B) - (A)	△142	△9	△12	△42	△0 円 84 銭
増減率 (%) (C) / (A)	△47.7	—	—	—	—
[ご参考]前年同期実績	165	△25	△27	△28	△2 円 17 銭

※前回発表予想は平成 26 年 2 月 14 日公表

※前年同期実績の 1 株当たり四半期純利益は平成 26 年 1 月 1 日付の株式分割(1 株 : 20 株)を考慮して算出しております。

## (2) 個別業績予想と実績の差異

(百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	107	△25	△28	△1円22銭
実績値 (B)	75	△76	△76	△2円52銭
増減額 (C) = (B) - (A)	△32	△51	△48	△1円30銭
増減率 (%) (C) / (A)	△29.9	—	—	—
[ご参考]前年同期実績	93	△12	△13	△1円00銭

※前回発表予想は平成26年2月14日公表

※前年同期実績の1株当たり四半期純利益は平成26年1月1日付の株式分割(1株:20株)を考慮して算出しております。

## 2. 平成26年12月期通期(平成26年1月1日～平成26年12月31日)の業績予想の修正

## (1) 連結業績予想の修正

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	633	△15	△31	△34	△1円49銭
今回修正予想 (B)	280	△115	△145	△165	△5円16銭
増減額 (C) = (B) - (A)	△353	△100	△114	△131	△3円67銭
増減率 (%) (C) / (A)	△55.8	—	—	—	—
[ご参考]前期実績	443	△76	△80	△92	△6円41銭

※前回発表予想は平成26年2月14日公表

※前期実績の1株当たり当期純利益は平成26年1月1日付の株式分割(1株:20株)を考慮して算出しております。

## (2) 個別業績予想の修正

(百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	214	△40	△44	△1円92銭
今回修正予想 (B)	150	△160	△160	△5円01銭
増減額 (C) = (B) - (A)	△64	△120	△116	△3円09銭
増減率 (%) (C) / (A)	△29.9	—	—	—
[ご参考]前期実績	207	△49	△90	△6円24銭

※前回発表予想は平成26年2月14日公表

※前期実績の1株当たり当期純利益は平成26年1月1日付の株式分割(1株:20株)を考慮して算出しております。

### 3. 業績予想と実績との差異及び業績予想修正の理由

#### (1) 平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計連結業績予想と実績との差異について

売上高の期初予想は 298 百万円でありましたが、実績は 156 百万円と 142 百万円の未達となりました。IT 関連事業は期初計画を若干上回る水準で推移いたしました。3 月末に復興支援事業から撤退したことによる環境事業の売上未達の他、再生可能エネルギー事業におけるコンサルティング事業開始の遅れ、ヘルスケア事業における医薬品・サプリメント事業分野での事業開始の遅れにより両事業で売上計上に至らなかったことが未達の要因であります。

営業利益の期初予想は△34 百万円でありましたが、実績は△43 百万円と 9 百万円の未達となりました。IT 関連事業はほぼ計画通りの水準で推移いたしました。復興支援事業では事業からの撤退に加え、人件費や資材費の高騰により営業利益は計画値に対して大幅な未達となりました。再生可能エネルギー事業及びヘルスケア事業の営業利益に関しましては、売上計上には至らなかったものの一般管理費の抑制に努めた結果、計画値を若干下回る水準で着地いたしました。また、本社経費に関しましては抑制に努めた結果、計画値を大幅に下回っただけでなく、前年同期比でも 16%減少いたしました。

経常利益の期初予想は△49 百万円でありましたが、実績は△61 百万円と 12 百万円の未達となりました。12 百万円のうち 9 百万円は営業利益の未達によるもので、残りの 3 百万円は支払手数料が計画値を上回ったことが要因であります。

四半期純利益の期初予想は△51 百万円でありましたが、実績は△93 百万円と 42 百万円の未達となりました。42 百万円のうち 12 百万円は経常利益の未達によるもので、残りの 30 百万円は、期初には見込んでおりませんでした復興支援事業からの撤退に伴う事業整理損を特別損失に計上したことによるものであります。

#### (2) 平成 26 年 12 月期連結業績予想の修正について

売上高は期初予想の 633 百万円から 280 百万円に修正いたしました。IT 関連事業に関しましては期初計画を据え置いておりますが、環境事業におきましては復興支援事業からの撤退により下方修正し、ヘルスケア事業におきましては医薬品・サプリメント事業での安全性の検証及び調剤薬局事業でのより収益性の高い候補地の選定や優秀な人材の確保に時間を要したため事業の開始が遅れ、下方修正いたしました。また、再生可能エネルギー事業におきましては、地熱・バイナリー発電事業の発電所建設が期初想定より早まり、経営資源を発電所建設に優先的に投入することとしたため、コンサルティング事業の売上高を下方修正し、事業全体でも下方修正といたしました。

営業利益は期初予想の△15 百万円から△115 百万円に修正いたしました。本社経費をはじめとする一般管理費は期初計画より減少いたしますが、売上高の下方修正に伴う営業利益の減少に加え、ヘルスケア事業の先端医療関連事業分野での研究開発投資増額修正などが営業利益下方修正の主な要因であります。

経常利益は期初予想の△31 百万円から△145 百万円に修正いたしました。営業利益の下方修正に加え、支払手数料の増加が主な要因であります。

当期純利益は期初予想の△34 百万円から△165 百万円に修正いたしました。経常利益の下方修正に加え、第 2 四半期連結累計期間に計上した特別損失(事業整理損)が主な要因であります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上